

SNS教育プログラム レッスン4 学習指導案

1 単元名 インターネット上の安全なやりとりを考えよう

2 本時のねらい

- (1) インターネット上の情報は、すべて正しいもの（本当のこと）とは限らない「あやしさ」があることを理解する。
- (2) 個人情報を教えることやインターネットの向こうにいる知らない相手と交流する場合の危険性を理解させ、安全にインターネットを利用しようとする態度を身に付ける。

3 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入	○ SNS が便利だと思うのはどんなときか、利用状況について振り返る。	・ SNS、動画視聴などの利用状況について振り返るようにする。 SNSには、いろいろな人と交流することができる利点がある。
展開	【事例】 ゲームサイトで知り合い、仲良くなった友だちがいます。今度実際に会って話したいという誘いがありました。	*送り手側と受けて側で考えさせる
	発問1：Fさんは誘いのメッセージがきた時、どんな気持ちになったと思いますか。	
	○ワークシートに自分の考えを記入する。 ○グループで意見を共有する。	・どのような迷いが生じるか考えさせる。
	発問2：Fさんが、ネット上で知り合った相手の人に、自分の名前や顔写真を送った理由は何が考えられますか。	
	○なぜ、「ネット上で知り合った人」を信じてしまったのか、その原因を考え、ワークシートに記入する。 【原因】(例) ☐ ゲームをして仲良くなったから信じた ☐ 優しくしてくれたから大丈夫だと感じた ☐ 電話番号や名前を教えてくれたから信じた ☐ 共通の友だちがいるから	・ネットだけでの交流では、顔、姿、気持ち、メッセージ、どれも本物かどうか分からない SNS の特性（ネットの向こう側の相手が見えない）を踏まえ、信じてしまう心理を考えさせる。
	発問3：あなたがFさんの立場なら、あなたはFさんのように会う約束をしたり、名前や顔写真を送ったりしますか。ワークシートの自分の考えに近いものを選び、理由を考えよう。	

	○ワークシートに自分の考えに近いものを選び理由を記入する。 ○グループで意見を共有する。	・迷ったときは、現実の世界に置き換えて考えてみるよう助言する。 ・信用できること＝安全であると言えるかを考えさせ、人は、「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」など過小評価して考えがちになる特性があることを理解させる。
発問４：ネット上で知り合った人に自分の個人情報を教えるとどんな危険があるでしょうか。気をつけなければいけないことをまとめよう。		
	○リスクを予測して気付いたことを書き出す。 グループで話し合い、意見を共有する。 【危険だと思うこと】 【気をつけること】 (例) ☐ ダイレクトメッセージにはすぐに返信しない ☐ 知らない人と会う前に家の人に相談する。 ☐ 相手のことを簡単に信じない ☐ 相手のSNS上の情報が正しいかどうか考える ☐ 本名などの個人情報を教えない ☐ 個人情報を聞かれたり、写真を送って欲しい、会おうと言われたら変（危険）だと思う ・自分が想像している人とは違う場合、どのような危険があるのかについて考える。 ○動画を視聴する。 ・いろいろな考えをもった人がいて、いい人を装った悪い人も存在する。そのため、知らない人とやり取りすることの危険性に気付く。 ・インターネットに公開されている情報の一部には、正しくない情報（嘘）もあるということを理解する。	・「どのような特徴があったら、あやしいと判断すればよいか」という危険を予測させ、正しい情報と判断するには、どうすればよいか（どこで「危ない」と判断するか）を考えさせる。 ・なりすましの危険性 顔が見えない場合は、自分が想像する人とは違う場合があることに気付かせる。 ・県警のSNSに起因する犯罪被害防止広報動画を視聴させる ・自分自身で、線引きを決めること、ルールを持つことが判断の基準として重要であり、自分の身を守ることとして必要であることを確認する。
まとめ	○授業の振り返り ・SNSを利用する際、自分がこれから気を付けることをまとめる。	・本時の学習を実生活に生かすように助言する。 ・個人情報の意味や大切さについて確認する。 ・インターネットやSNSを利用している中で困ったことや危険を感じたら被害に遭う前に大人に相談する大切さを伝える。

4 評価

十分満足できると判断される状況

ネットの特性や危険性を理解し、適切な行動について考えることができる。

努力を要する状況への手立て

他人の意見を聞くことにより、どのような関わりが危険につながるのか、正しい知識を身につける必要性を理解させる。

5 教材

「YouTube「新潟県警察公式チャンネル」SNSに起因する犯罪被害防止広報動画
自撮り送信被害防止（1分20秒）

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=ddh92DJwKY8&feature=youtu.be>

SNSに起因する性犯罪等の被害防止（1分11秒）

https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=HGcn7p_MlCg&feature=youtu.be

6 実践するにあたって

(1) 概要

- ・児童生徒は、大人が思っている以上に友だちやインターネット等から多くの情報を得ている。好奇心の強い年代であり、さほど抵抗もなく個人情報が見つかる内容を書き込んでしまうことから、SNSでのコミュニケーションのやり取りにおいて、面識のない人を信用してしまう、陥りやすい心理状態を自分ごととして考えさせながら、個人情報を知らせることで起こりうる不利益や被害があることを理解させ、情報の信頼性や信憑性を判断し、リスクを回避する行動に結びつくよう意識付けるものである。

(2) 指導の方向

- ・面識のない人物とのSNSでのやり取りを経験している児童生徒もいることから、個人情報を知らせることで起こりうる危険性について知り、適切な扱い方について理解させたい。また、SNSでは様々な情報を得られる状況にあるが、それらの情報の真偽について正しい判断が求められる。自分の振る舞い方次第でSNSトラブルを予防、回避することができることを理解させ、自分がその立場に立ったときに慎重に判断することができるよう情報モラルの意識を向上させたい。

(3) 工夫すると良い点

- ・教員は児童生徒が挙げた例を適切に取り上げ、グループでの議論が円滑に進むようにサポートする。
- ・リスクを予測させた後、インターネットで知り合った人は、なりすましであり、大人であったことを示し、自分が想像している人とは違う場合、どのような危険があるのかについて考えるよう促す。
- ・「危険性くらいわかっている」という児童生徒の反応も予想されるが、誰もが陥る可能性がある「つい」「これくらいは」という心理状態に陥ることを課題としてとらえていこうという流れで取り組ませる。
- ・実際にあった事件の例を示すことにより、インターネット上での安易なやりとりが重大事件に発展する危険性について理解を深めることにつながる。その際は、こわがらせることだけに偏ることがないように適切に取り上げるよう配慮する。

年 組 名前

Fさんは、オンラインゲームをしています。
チャットで仲良くなった人が、隣の学校の同じ学年の人だと言ってきました。

今度、会いたいと言われたので、次の日曜日に会う約束をしました。そして、お互いに名前を伝え、顔写真を交換することにします。

この後、何が起こるでしょうか？



Fさん

- ◆ Fさんは、誘いのメッセージがきた時、どんな気持ちになったと思いますか。

どんな気持ちになるかを書いてみよう

- ◆ Fさんが、ネット上で知り合った相手の人に、自分の名前や顔写真を送った理由は何が考えられますか。

- ◆ あなたがFさんなら、ネット上で知り合った人に自分の名前や顔写真を送ってもいいと思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけて、その理由も書きましょう。

- あなたが、自分の写真や動画を送って欲しいと言われたらどうすると思いますか。

- () ① 送る
() ② たぶん 送るかもしれない
() ③ 何度も頼まれたら送るかもしれない
() ④ たぶん送らない
() ⑤ 送らない

● あなたが「送ろう」（または「送るかもしれない」）と思う理由は何ですか

- () ①その相手にしか見せないから、見せてもいいと思う
- () ②メッセージ等のやり取りをして仲良くなった相手だから、見せてもいいと思う
- () ③（見せたくはないが）断るとその相手との関係が悪くなると困るから
- () ④（見せたくはないが）何度も頼まれたら断りきれないと思うから

考えを書いてみよう

● あなたならネット上で知り合った人に会いに行ってもいいと思いますか。

- () ①会いに行く 理由：
- () ②会いに行かない 理由：
- () ③友だちと一緒にいく 理由：
- () ④おうちの人に相談する 理由：

どのような人であれば、ネット上で知り合った人と実際に会ってもいいと思いますか？

◆ ネット上で、知り合った人に自分の個人情報を教えるとどんな危険があるでしょうか。
気をつけなければいけないことをまとめよう。

【危険だと思うこと】	【気をつけること】

授業の感想